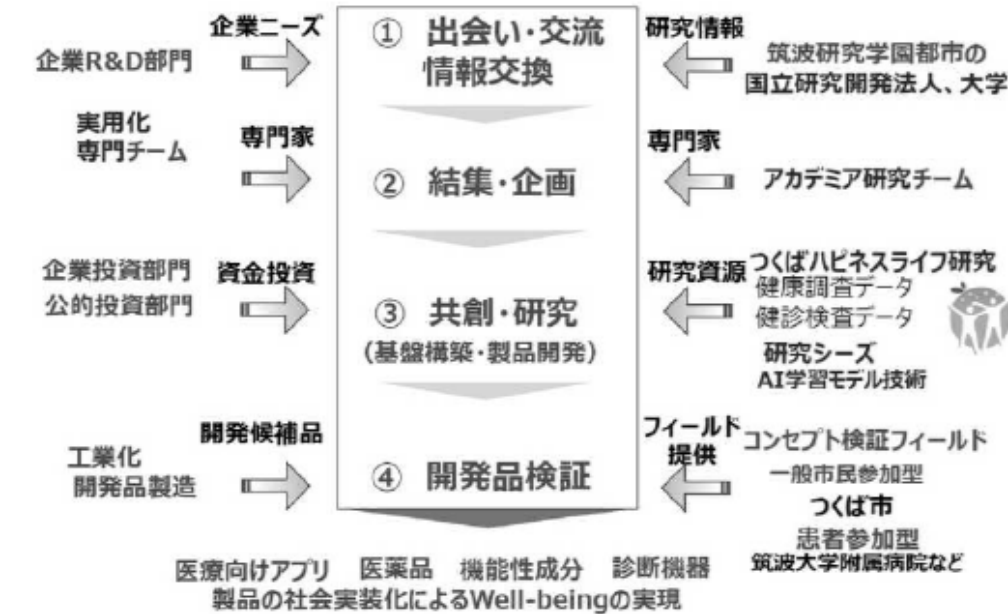


つくばデジタルバイオ国際拠点

筑波大学

■ つくばデジタルバイオコンソーシアム概念図 ■



筑波大学を中心に産学官で取り組む「つくばデジタルバイオ国際拠点」では、国民全体のウェル

を対象とした健康調査「つくばハビネスライフ研究」などを茨城県つくば市内で実施しており、つくば地区全体を「デジタル技術駆使したバイオ分野のイノベーションの国際拠点とする方針だ。2024年からビジョンを共有する企業との連携強化を促す目的で、企業と各研究機関が交流できる「つくばデジタルバイオコンソーシアム」を立ち上げた。

「つくばデジタルバイオコンソーシアム」では、企業ニーズを起点に研究機関データを用いた人工知能(AI)学習モデル技術の駆使により、医療向けアプリや機器、機能性成分や新薬の開発などに主に予防に焦点を当てたテーマで研究中

先端技術駆使 ウェルビーイング達成へ

健康意識を向上させさせるほか、地元自治体と連携して社会インフラ整備にも役立てるなど、地域社会にも幅広く貢献する。複数の企業が本研究に参画し、調査データや血液検体の測定データを活用したイノベーションの創出に取り組んでいる。

インタビュー

世界で戦えるバイオ産業拠点に

「つくばデジタルバイオコンソーシアム設立の経緯は。『科学技術振興機構(JST)の共創の場形成支援プログラムバイオ分野に筑波大学が採択されたことがきっかけ。国民のウェルビーイング達成に向け、2020年から

「世界で戦えるバイオ産業の拠点にしたい。現在参画する企業は50社ほど。将来的に参画企業100社にする。興味のある企業を随時募集している。つくば市は都市部と郊外地域が混在する自治体で、全国の各地域と共通点も多い。つくば市のウェルビーイングモデルを世界に水平展開できると考えている」



JUST COOPER
NEXT つくばデジタルバイオ国際拠点プロジェクト
リーダー

西山博之教授

「つくばデジタルバイオコンソーシアム」を立ち上げた。つくばデジタルバイオコンソーシアム」を立ち上げた。つくばデジタルバイオコンソーシアム」を立ち上げた。つくばデジタルバイオコンソーシアム」を立ち上げた。